

今回、私が広報係に配属されて、初めて特集を担当しました。最初はどのように手を付けばよいのか全く分かりませんでした。園長をはじめ動植物園のスタッフの皆さんの協力や、先輩方の指導により、多くの事を学ぶことができました。

読むだけの立場から作る立場へ変わってみると、まだまだ知識も勉強も足りないということを痛感させられました。

今回学んだことを忘れず、次回担当する特集で生かすことができるように、これからも業務に取り組んでいきたいと思っています。(I)



元気な朝ごはんレシピ 一般部門アイデア賞  
野菜たっぷりはるさめ丼



食欲のない夏にカレー風味で食欲UP! はるさめや野菜を使っているのであっさりしています。

●考えていただいた人 池田さくらさん (佐世保北高等学校1年・当時)

●1人分の栄養価  
熱量532kcal、たんぱく質19.7g、脂質22.1g、塩分2.1g

- 材料・4人分
- はるさめ(乾) 70g
  - きゅうり 2本
  - レタス 1/2個
  - トマト 2個
  - ごはん 400g
  - 豚ひき肉 250g
  - にんにく油 大さじ1
  - しょうゆ 大さじ3
  - カレー粉 小さじ1/2
  - ごま油 大さじ1/2
  - ゆで卵 2個

- 作り方
- 1 はるさめを熱湯でゆで、食べやすい長さに切る。
  - 2 きゅうり、レタスは千切り、トマトは薄切りにする。
  - 3 器にごはん、きゅうり、レタス、トマト、はるさめの順に重ねて盛り付ける。
  - 4 フライパンににんにく油を入れて、ひき肉を炒め、肉に半分火が通ったらしょうゆ、カレー粉を加え火が通るまで炒める。
  - 5 熱々の④を③にのせる。
  - 6 食べるときにごま油を回しかけ、下から全体をよく混ぜる。
  - 7 ゆで卵を飾る。

レシピ募集中

詳しくは本紙7月号裏表紙から  
市ホームページをご覧ください

市長日記

させぼ美化プロジェクト

「させぼ美化プロジェクト」。この事業は佐世保市職員の提案によって、本市が本年度に初めて取り組む事業で、「佐世保には花が少ないね」という市民や訪れる方々のご意見をきっかけにスタートしました。

佐世保市内の主な幹線道路は国や県の所管になっているため、市ではこれまで道路の植栽帯に花を植えることなどに積極的に取り組んできませんでした。しかし、国や県の財政も大変厳しく、国・県に頼っていても、いつまでも佐世保のまちを花できれいにすることはできません。そこで佐世保市では、国道、県道、市道の植栽帯などを花でいっぱいにし、観光都市「させぼ」のイメージアップを図るとともに、市民の皆さんが親しみの持てるまちづくりを行うために、このプロジェクトを始めました。

このプロジェクトは市民の皆さんの力をお借りして、行政と市民との協働で実施する事業です。具体的には、プロジェクトの参加者に種から花を育てていただき、その育てた花を道路の植栽帯などへ植え付けていただくもので、本年度は市内の保育園、幼稚園、小・中学校などに参加を呼び掛け、約50の団体に参加していただくことになりました。

参加者には5月上旬から自分たちで花の苗を育てていただき、6月下旬から順次、道路の植栽帯に植え付けていただきました。保育園や幼稚園のかわいい園児などが、自分たちで種をまき、水をやり、心を込めて育ててくれ



市民文化ホール(平瀬町)前の道路の植栽帯に花を植え付ける園児たちと朝長市長

た花々です。最も少ない場所で75株、最も多い場所で2820株、合計で約1万5000株もの花々が18の地域に植栽されました。ご協力いただきました皆さま方に心から感謝の意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。市民の皆さんと行政が一体となって、「させぼ」のまちを四季折々の花で美しく彩るこの事業。今後とも無理のない、できる範囲で、多くの方々にご参加いただきたいと思います。

次はあなたの出番です。地域の空き地や会社の敷地、ビルの屋上などで丹精込めて育てた花々を、佐世保を訪れる人のため、市民のために活用してみませんか!

佐世保市長 朝長 則男

「させぼ美化プロジェクト」に関する申し込みなど 国土政策・管理課 ☎24-1111



大智庵城は、明応七(二四九八)年、松浦の丹後守政が、この地に大智庵城を築いたのが延徳二(二四九〇)年、その縄張りを描いた古図には、紋珠岳東側の山腹に文珠堂の所在が記入されています。



宗家松浦丹後守政は、北西部九州に勢力を張っていた少貳政資の女を妻として迎え、少貳氏を後ろ盾としていました。このころ、真言律宗と文殊信仰が佐世保の豪族に及んだのでしよう。

歴史散歩 第541回

眼鏡岩の文殊菩薩

撮影・文・筒井隆義

奇岩の名所で、弘法大師伝説がある瀬戸越町の眼鏡岩。岩下のお堂の中には「文殊の知恵」で知られる木造の文殊菩薩が安置されています。像高六〇センチほど、彩色は剥げ落ちていますが、堂々と獅子に坐した姿は、なかなか風格があります。お訪ねした日、桜木町の久池井弘子さん(七十三歳)が香華を供えて参詣しておられ、「昔から堺木一円の人が信仰していました」と話されました。国道二〇四号を隔てた東に紋珠岳があり、下を泉福寺方面に行く古道筋は大野村時代に瀬戸越免字紋珠の辻の地名でした。

対立していた平戸松浦に攻められて落城。政は討ち死にしてその子幸松丸は平戸の人質になり、解放されたのち、相浦・飯盛山に飯盛城を築き、本拠を移します。紋珠岳にあった文殊堂は、いつの時代か、有志の手で眼鏡岩に移されたのでしよう。文殊菩薩信仰は、鎌倉時代、真言律宗の忍性が鎌倉の極楽寺を拠点に広められた。北部九州では、福岡市西区飯盛の飯盛神社の元神宮寺の本尊で、像高二・六メートルの騎獅像がよく知られています。東大寺南大門の仁王像を造立した大仏師運慶の流れを汲む仏師湛幸が、康永元(二四四二)年に造立したものです。

九十九島ビジターセンターがオープン!



九十九島を再現した展示物に見入る来館者

九十九島の魅力を紹介!  
7月3日(土)、西海パールシーリゾート内に「西海国立公園九十九島ビジターセンター」がオープンしました。ビジターセンターとは、国立公園の自然との触れ合いを促進する環境省の施設。新たに建設された九十九島ビジターセンターでは、九十九島に生息する生き物や植物などがさまざまな展示を通して紹介されています。また自然体験学習やエコツーリズムなど体験観光の拠点施設としての機能も有しており、九十九島に関する調査研究を行う「九十九島調査室」なども設けられています。  
入館料=無料、営業時間=9時~18時

カヤックに乗って国立公園を探検しよう!  
2人乗りカヤックで長尾半島公園へ渡り、自然体験プログラムを行います。  
時 9月18日 ⑩10時~15時30分(予定) ※雨天中止 場 長尾半島公園ほか  
対 小学生以上の子どもとその保護者(20歳以上) 定 10組 料 1組1,000円  
申 往復はがきに必要事項を書いて、九十九島ビジターセンターへ。詳しくはお尋ねを 8月31日(火)必着  
問 九十九島ビジターセンター 〒858-0922 鹿子前町1055 ☎28-7919